

医療的ケア児者の災害時の電源確保について考える研修会

大津市障害者自立支援協議会

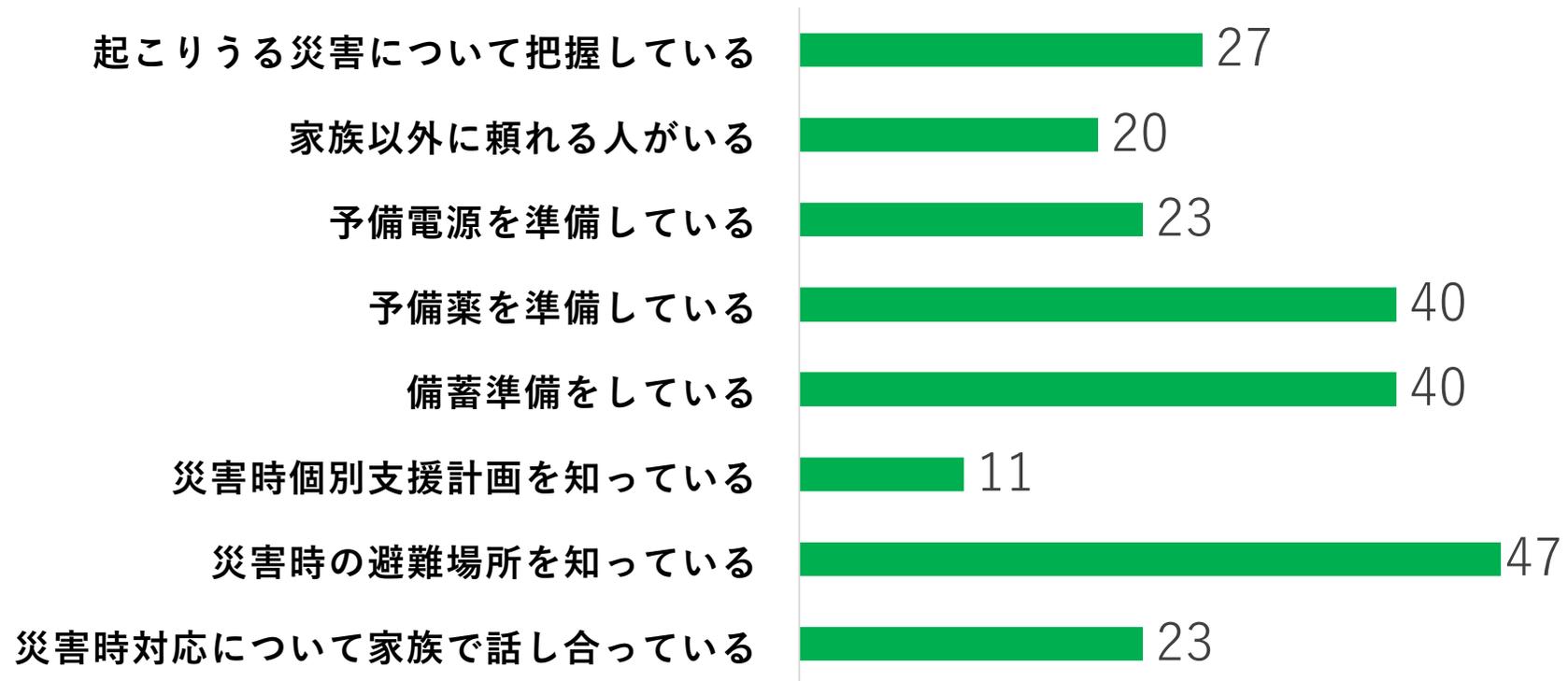
重症心身障害及び医療的ケア児者支援協議会

医療的ケアの方の災害時の支援を考える 場合に大切なこと

- ① ライフラインの確保
- ② 移動が困難
- ③ 避難所の衛生環境に不安
- ④ 必要な薬や医療ケア用具、衛生材料、経管栄養剤などの不足
- ⑤ 日常利用している支援が途絶える
- ⑥ 個別避難計画の作成

令和4年度実態調査

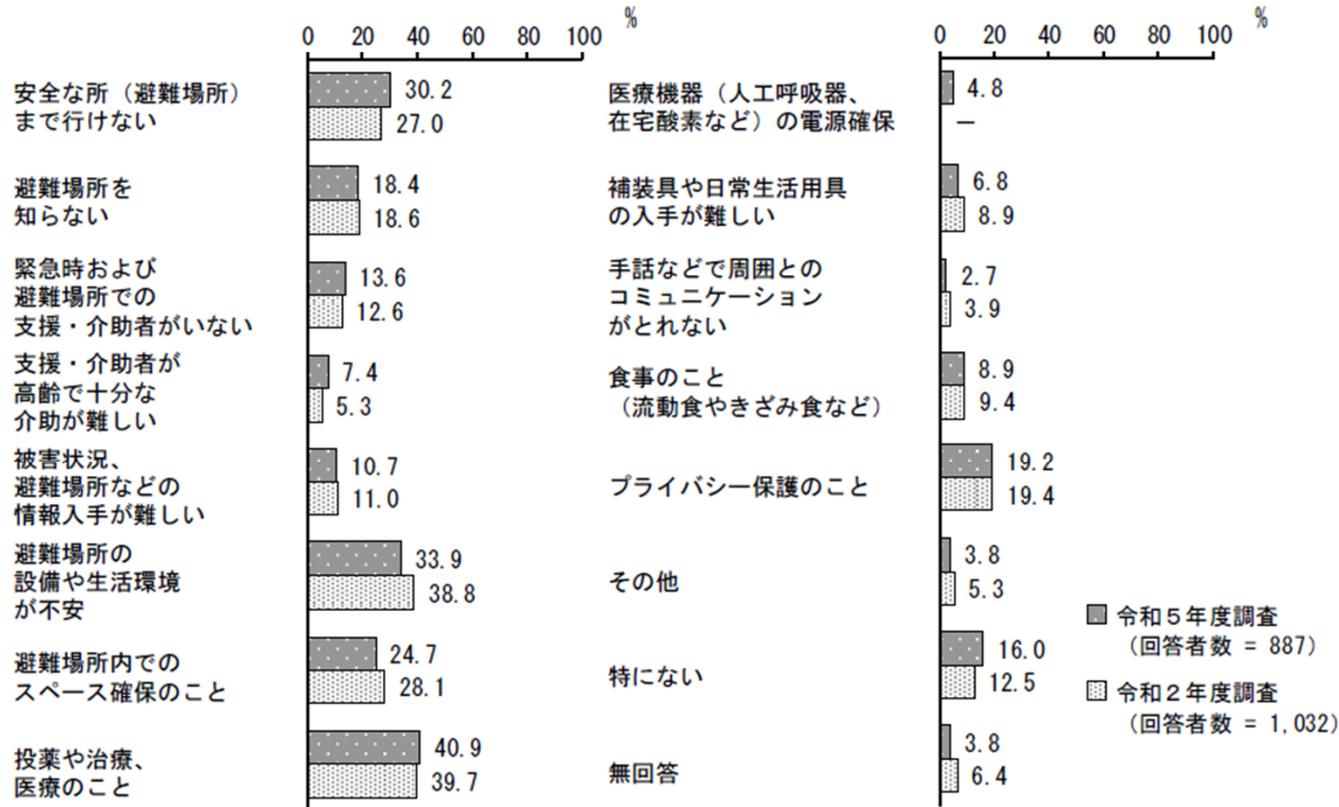
災害時の備え



ウ 災害が起きた時に心配なことや困ること

「投薬や治療、医療のこと」の割合が40.9%と最も高く、次いで「避難場所の設備や生活環境が不安」の割合が33.9%、「安全な所（避難場所）まで行けない」の割合が30.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



人工呼吸器の方等の電源確保に関して研修会で学びたいことや聞きたいこと

- 日中系のサービスであれば、どれくらいの電源の確保が必要なのか、実際のバッテリー、発電機などのおすすりめなども教えていただきたい。平常時の運用についても、送迎の車ごとにバッテリーを置いておくべきか、ソケットで車両の電源を確保できるものにしておいた方が良いか、充電しながら、利用できるものがあるのか。
- 内蔵及び外付けバッテリーが何時間持つのか
- 医療機器の充電方法や充電時間、医療機器に必要な消費電力
- 医療機器に接続してよい電源はどういったものか
- 停電時のメーカー等の体制・動きについて
- 実災害時における備えておいてよかった話や、備えが不十分だった話の実例など
- 外部バッテリー購入の際におすすりめのメーカーものがあるか。災害時に呼吸器が必要な方等の避難場所を行政が準備する計画等があるのか。
- どの機器の電源確保を優先すべきか、その順序、等

災害時の人工呼吸器の方等の電源確保に関する事業所の対策の現状や課題等

- 必要となる電源の量、想定しなければならないケース
- 蓄電池や発電機の確保について、補助金や助成金がない
- 自助努力によって若干の準備はされているが、実際の場面になれば電源と並んで多くの対応が平行して必要な方たちといえるので、そのことも踏まえ動きが取れることが重要かと思う。
- 院内は自家発電で対応。地域で暮らす方への具体的な支援は明確にない。緊急時に医療が必要かで病院対応の可否を判断することになると思われる。
- 地域の避難所の場所とポータブル充電器への充電が可能か知りたいです。